

第 75 回 火力専門委員会 溶接分科会 議事録

- I. 日 時：2017 年 6 月 23 日（金） 13 時 30 分～16 時 10 分
II. 場 所：東京大学工学部 3 号館 424 会議室
III. 出席者：青山(東大)、樺田(MHPS)、倉富(東電 FP)、幅野(IHI)、長谷川（発電技検）、
水谷（東工大）、飯田（東電 FP）、山下（神鋼）、大橋（中電）、辻（関電）
欠 席：逢澤(MHPS 日立)、飯島（日溶協）、
代理出席：岩井（東芝：原田）
事務局：原

IV. 配付資料

- 75-1 第 74 回溶接分科会議事録（案）
- 75-2 溶接分科会委員名簿
- 75-3 第 80 回火力専門委員会報告
- 75-4 第 82 回発電設備規格委員会議事録(案)
- 75-5 火力専門委員会書面投票 No.71（高クロム鋼関係）結果報告
- 75-6 用語集
- 75-7 -1 レビュー票（神鋼）
- 75-8 -1 レビュー票（ダブルチェック結果反映、発電技検）
- 75-8-2 レビュー票（ダブルチェック結果反映、IHI）
- 75-9 審議履歴表
- 75-10 ダブルチェック進捗状況確認表

V. 議事

1. 前回議事録確認 [資料 75-1]
前回議事録（案）について確認を行い、議事録(案)が承認された。
・修正箇所…(1)用語集の確認 packing → backing（2ヶ所）
2. 分科会委員・役員の承認 [資料 75-2]
○出席委員全員の賛成により、倉富委員（幹事）、逢澤委員を再任候補として、次回火力専門委員会へ推薦することが承認された。
3. 報告事項 [資料 75-3]
(1)火力専門委員会報告
5 月 18 日開催の第 80 回火力専門委員会の主要項目が報告された。
○火力専門委員会委員、各分科会委員の承認
○第 74 回溶接分科会報告
・発電用火力設備規格 201X 年版レビュー票の審議状況
・レビュー票ダブルチェックの進捗状況確認、提案資料準備の進め方の確認

- ・新旧対比表、変更箇所一覧表の書式について
- 審議結果報告
 - ・高クロム鋼の強度見直しに係る追補・事例規格案の提案
書面投票の実施が承認された。

(2)規格委員会報告 [資料 75-4]

6月6日開催の第81回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

- ・火力専門委員会(5/18開催)報告
- ・高クロム鋼の強度見直しに係る追補・事例規格の提案

(3)火力専門委員会書面投票 No.71 結果報告 [資料 75-5]

火力専門委員会書面投票 No.71「高クロム鋼のクリープ強度見直しに係る追補・事例規格発行の提案」の提案結果の報告があった。いずれも可決、意見対応による修正案についてメール審議中。

4. 審議事項

(1)用語集の確認 [資料 75-6]

新たな追記・変更箇所はなし。

(2)レビュー票審議

第Ⅶ章 QW-432 [資料 75-7]

山下委員から資料に基づき説明があった。提案どおりニッケルおよびニッケル合金3材料を追加することが確認された。

- 新たに追加になる材料はどのようなものか。→ Crの含有量を増やしており、耐食性を向上させたものと思われる。JISには今のところは登録されていないが、今後登録されることが予想される。
- 認証用の材料とあるが、実際に使われるのか。→ WPSに登録されていると新たに同種の材料を使う場合に、あらためて施工法を取る必要が無いので、実際に使うときに使いやすいというメリットがある。

(3)レビュー票ダブルチェック結果反映

1) レビュー票（ダブルチェック結果反映、発電技検） [資料 75-8-1]

Ⅵ章 アーティクル1

長谷川委員が、ダブルチェック結果を反映したレビュー票のうち、審議が必要と判断した項目について説明した。

○T-110

- ・T-110 (b)および(a)の一部を取り入れていない経緯について → 補遺へ反映することを考える。

○T-120.2

- ・Z2305の年版を2001年から2013年に変更する件は、提案どおりとすることが確認された。

○T-150

- ・提案どおり、“Procedure”は、文書を示すことが明確な箇所は“要領書”、それ以外の箇所は“要領”とすることが確認された。

2) レビュー票（ダブルチェック結果反映、I H I） [資料 75-8-2]

Ⅶ章 QW

○QW-302.2

- ・except that …以下の文章を、QW-304.1 の表現を参考に分かりやすく見直す。

○QW-355

- ・SEMIAUTOMATIC GAS METAL-ARC WELDING：半自動マグ溶接 を用語集へ反映する。

(4) 今後の進め方

樺田副主査が今後の進め方を説明した。確認事項は以下のとおり。

○規格改訂提案のターゲット

- ・11 月後半に開催が見込まれる第 82 回火力専門委員会において、Ⅵ、Ⅶ章の改訂を提案する。
- ・2 月後半に開催が見込まれる第 83 回火力専門委員会において、補遺、基本規定の改訂を提案する。

○改訂の提案において準備する資料。

- ・新旧対比表、レビュー票、原稿クリア版を準備する。レビュー票は提案資料ではないが、書面投票時に委員が改訂の妥当性を確認できるよう、閲覧可能な共用フォルダに保存することを考えている。

○ダブルチェック

- ①引き続き、メールベースで連絡を取りながら、ダブルチェック、ダブルチェックの結果反映の作業を進める。審議が必要な事項のみ、分科会で審議する。
- ②担当委員とチェッカーが合意して、ダブルチェックの結果の反映が修了したレビュー票は、改訂版の原稿が確定したものとして、そのレビュー票を、CS キャビネットのダブルチェック反映済フォルダに保存する。

○新旧対比表

- ・レビュー票が確定した箇所については、新旧対比表の作成を開始する。新旧対比表の書式は、前回の分科会において提示したものを標準とする。
- ・各委員が準備した新旧対比表の体裁などは、次回の分科会で確認する。新旧対比表での改訂内容欄の文言は、表現を統一できるよう適宜調整を行う。

Ⅵ. 次回開催予定

- ・日時：2017 年 9 月 11 日（月） 13 時 30 分～
- ・場所：東京大学 工学部 3号館 424 会議室（本郷）

以 上